



にほん やきゅう 日本のプロ野球がはじまったのはいつなの

だい たいせん やきゅう アメリカ大リーグと対戦するためのプロ野球

1873年(明治6年)に、日本に野球が紹介されて以来、とてもさかんになりましたが、まだ日本にプロ野球はなく、中等学校野球大会や東京六大学野球リーグ戦、全国都市対抗野球などがはじまりました。甲子園球場や明治神宮球場なども作られ、野球が人々の関心をよぶようになりました。

ところが、1934年(昭和9年)に日本にやってきた、アメリカ大リーグのベーブルースや、ゲーリックなどのオールスターチームと対戦できるのは、日本のプロ野球チームに限られるというので、「全日本チーム(大日本東京野球倶楽部)」が作られ、これが日本ではじめてのプロ野球チームとなりました。

きゅうだん しょくぎょうやきゅうれんめい 7球団で職業野球連盟がスタート

次の年に、このチームはアメリカに出かけ、「東京ジャイアンツ」という名前をつけてもらいましたが、これがいまの、「読売巨人軍」です。この年の末には、「大阪タイガース」、翌年には「名古屋軍」「東京セネターズ」「阪急軍」などができ、全7球団で「日本職業野球連盟」がスタートしたのです。(監修・保岡 孝之)

